

- ・ 7人前後。
- ・ 朝早くより準備にかかるので忙しいが、喜んでくださるので楽しい。
- ・ 8人。
- ・ 民生委員、民生協力委員等で今日まで続けているが、なかなか大変である。しかし、楽しい。

***運営及び活動方法**

- ・ 市よりの助成金15万円。1回1人300円。
- ・ 2ヵ月に1回。お昼の食事、お話し合い、体操、歌、ゲーム、血圧測定。
- ・ お昼の食事の材料は、活動者があるものを持ち寄る。
- ・ 市より助成金。自分たちの会費個々に。
- ・ 1ヵ月に10日程度。手作り品をバザーに出し、売上金等もあるが「ふれあい喫茶」に使用している。
- ・ まだ市に申請しておらず、助成金は今のところ無し。
- ・ 2ヵ月に1回。参加者1人300円。公民館でさせていただいているため、ガスや水道代は自治会より出してもらっている。お昼の食事、お話し合い、体操、歌、ゲーム、血圧測定。
- ・ お昼の食事の材料は、活動者があるものを持ち寄る。
- ・ 市よりの助成金。参加者1人400円。
- ・ 公民館を使用しているため、ガス・水道代1,000円を支払っている。
- ・ お昼の食事の材料は、活動者があるものを持ち寄る。
- ・ お昼の食事、お話し合い、体操、歌、ゲーム、血圧測定、講演会。
- ・ 参加できない人にその日のお弁当を配達している。
- ・ 市よりの助成金。参加費無料。2ヵ月に1回。
- ・ お昼の食事はしていない、お茶菓子のみ。お話し合い、体操、歌、ゲーム。
- ・ NPOセミナーに通い勉強中である、そこまで結びつけるのは大変であるが、まず知ることが第一と考え動いている。
- ・ 市よりの助成金もあるが、赤字にならないように頑張っている。

- ・当初15～20人。
- ・自分の地域で集うことができ、とても喜ばれている。次回を楽しみにしている。
- ・当初は16人より始められたが、現在では65歳～90歳の方まで25人。
- ・近くで楽しみができたと思われている。

***活動者の人数及び満足度**

- ・5人と他のグループ6人。
- ・ヘルパー等で家族を交え1対1で介助し、きめ細かなもので相互に満足感がある。
- ・5～9人。
- ・活動者同士のコミュニケーションの場ともなり、地域活動に繋ぐことができる。
- ・9人。
- ・昼食の料理などする過程でお互いのコミュニケーションの場となっている。
- ・活動後、活動者の喜び、達成感に特に強いものがある。
- ・8～16人。
- ・活動者の仲間づくりになり、地域の活性化に繋がっている。
- ・12人。
- ・話に花が咲き、コミュニケーションの場となり楽しい。
- ・他の事業と重なると活動者が減り困る。分割活動も考えたが、多人数の方がコミュニケーションの場にはよい。
- ・23人。
- ・若い年代の層の活躍もある。
- ・5人。
- ・活動が苦にならないよう、お互い確認しあっているが、もう少し育成を図りたい。また、高齢者(利用者)と接し、「おおきに」のことばを聞くたびに、よかったと思える。

- ・ 7人前後。
- ・ 朝早くより準備にかかるので忙しいが、喜んでくださるので楽しい。
- ・ 8人。
- ・ 民生委員、民生協力委員等で今日まで続けているが、なかなか大変である。しかし、楽しい。

***運営及び活動方法**

- ・ 市よりの助成金15万円。1回1人300円。
- ・ 2ヵ月に1回。お昼の食事、お話し合い、体操、歌、ゲーム、血圧測定。
- ・ お昼の食事の材料は、活動者があるものを持ち寄る。
- ・ 市より助成金。自分たちの会費個々に。
- ・ 1ヵ月に10日程度。手作り品をバザーに出し、売上金等もあるが「ふれあい喫茶」に使用している。
- ・ まだ市に申請しておらず、助成金は今のところ無し。
- ・ 2ヵ月に1回。参加者1人300円。公民館でさせていただいているため、ガスや水道代は自治会より出してもらっている。お昼の食事、お話し合い、体操、歌、ゲーム、血圧測定。
- ・ お昼の食事の材料は、活動者があるものを持ち寄る。
- ・ 市よりの助成金。参加者1人400円。
- ・ 公民館を使用しているため、ガス・水道代1,000円を支払っている。
- ・ お昼の食事の材料は、活動者があるものを持ち寄る。
- ・ お昼の食事、お話し合い、体操、歌、ゲーム、血圧測定、講演会。
- ・ 参加できない人にその日のお弁当を配達している。
- ・ 市よりの助成金。参加費無料。2ヵ月に1回。
- ・ お昼の食事はしていない、お茶菓子のみ。お話し合い、体操、歌、ゲーム。
- ・
- ・ NPOセミナーに通い勉強中である、そこまで結びつけるのは大変であるが、まず知ることが第一と考え動いている。
- ・ 市よりの助成金もあるが、赤字にならないように頑張っている。

- ・当初15～20人。
- ・自分の地域で集うことができ、とても喜ばれている。次回を楽しみにしている。
- ・当初は16人より始められたが、現在では65歳～90歳の方まで25人。
- ・近くで楽しみができたと言われている。

***活動者の人数及び満足度**

- ・5人と他のグループ6人。
- ・ヘルパー等で家族を交え1対1で介助し、きめ細かなもので相互に満足感がある。
- ・5～9人。
- ・活動者同士のコミュニケーションの場ともなり、地域活動に繋ぐことができる。
- ・9人。
- ・昼食の料理などする過程でお互いのコミュニケーションの場となっている。
- ・活動後、活動者の喜び、達成感に特に強いものがある。
- ・8～16人。
- ・活動者の仲間づくりになり、地域の活性化に繋がっている。
- ・12人。
- ・話に花が咲き、コミュニケーションの場となり楽しい。
- ・他の事業と重なると活動者が減り困る。分割活動も考えたが、多人数の方がコミュニケーションの場にはよい。
- ・23人。
- ・若い年代の層の活躍もある。
- ・5人。
- ・活動が苦にならないよう、お互い確認しあっているが、もう少し育成を図りたい。また、高齢者(利用者)と接し、「おおきに」のことばを聞くたびに、よかったと思える。

*利用者の人数及び満足感

- ・利用者、約50人。年中行事の一つとして、ミニ運動会、他のグループのボランティアも一緒に、外からの空気も入れ活動している日々、笑顔が見える。
- ・車椅子介助もあり、利用者も感謝される。

- ・7～8人。2ヵ月に1回だが嬉しくて前夜は眠れないほど楽しみだ。

- ・30～35人（70歳以上を対象）。集落が細長く、北と南で日頃会えない人とも話しができる。（どこどこに孫が誕生されたとか）
- ・着替えなくてもそのまま参加できる。
- ・参加した日は、気持ちが若返ったようだ。

- ・35人。
- ・楽しみで前夜は眠れない。料理はおいしく季節感もある。（活動者の中に栄養士）

- ・14人。
- ・2ヵ月に1回だが、楽しくて楽しくて。

- ・24人。
- ・お礼のことばでいっぱい。待ち遠しい。長生きしてよかった。

- ・20人。
- ・ここへ来たら安心して、そして落ち着いて食事ができる。よそゆきの格好をせんと来れる。ひとりで食べるより、みんなで食べると一段とおいしい。待ち遠しくて、待ち遠しくて！

- ・40人。
- ・2ヵ月に1回だが待ち遠しい。お花見をしていただいたとき、夢に見るほど楽しかった。花びらがお弁当に降り注ぐ様は絵に描いたようで長生きしてよかった。
- ・当地区の高齢者は多いが、参加者が固定化しているように感じる。もう少し人数を増やしたい。
- ・毎回メニューが変わっておいしくて、楽しくて満足いっぱい。

〔実践記録より〕

*発足のわけ・必要性

- ・平成12年度より高齢者のやすらぎの場を誰となしに自然に発足した。自分たちも(活動者も)だんだんと歳をとっていきのだからという思いもある。
- ・なんとなく、誰となく高齢者を対象にあった「ほたる会」が「いきいき会」と代わって発足に至った。
- ・昔の仲間と、また同じ年輩で気の合う者同士で自治会内で話し合える場がほしい、また高齢になると目は見えにくく、耳は遠い、足は痛く、遠くへ行きにくいから近いところでの声があり発足した。
- ・900戸余りの新興住宅で交流を持つことで、ひきこもりがちな高齢者と絆ができ、住みよい生活ができたらの思いで発足した。
- ・施設支援も重ね生き甲斐を感じ、ここに住んでよかったと思えるように活動している。(必要性を感じている)
- ・独居の人があり、気になった。明日は自分も歩む道。今、元気なうちのボランティア活動をしておこうと考え発足した。
- ・民生委員として家庭訪問をする中で、老人家庭及び高齢者の数の多いことに改めて気づきボランティアを募り、活動を開始した。(平成8年より)
- ・いずみ会で料理を習った。「その味を家族のみならず、他の人たちにも伝えたい」との願いから視点を老人に向けた地域の食材にも目を向けながら、その土地のよさをみんなで認め合い、励まし合って発足に至った。
且つ、お互いのコミュニケーションを図りながら、順調に活動が続いている。
- ・自立されている高齢者のデイサービス(市の事業)がなくなり、閉じこもりの高齢者が健康で長寿できるように！
- ・市社会福祉協議会の指導により、地区委員(自治会長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、愛育会、いずみ会)に話しかけ、今後の必要性を感じ発足した。
- ・市社会福祉協議会の指導を受け、自治会役員会に図り、大変よいことではないかと発足した。

福祉部会活動実践記録 (ボランティア)

〔記録用紙〕

訪問施設名

代表者名

訪問場所

訪問年月日時間

平成 年 月 日

時 ~ 時

訪問者氏名

<u>発足のわけ・必要性</u>
<u>利用者の人数及び満足感</u>
<u>活動者の人数及び満足感</u>
<u>運営及び活動方法</u>
<u>問題となっていること</u>
<u>今後の課題</u>
<u>市要望事項</u>
<u>その他・備考</u>

「ふれあいきいきサロン」

聴き取り調査内容

ふれあいいきいきサロン事業実施自治会・ボランティア団体

自治会・ボランティア名	代表者名	TEL	開催場所	実施回数	利用者数	開始年度	
自治会	西町	北川久子	552-2454	下西町公民館	6	16	H13～
	東岡屋	小山和男	552-1086	高山会館(公民館)	7	15	H13～
	川北	北川善博	593-0763	川北集落センター	6	15	H13～
	当野	谷田佳美	595-0180	当野公民館	6	30	H13～
	本荘	藤本博章	597-2225	本荘公民館	6	30	H13～
	安田	臼井辰雄	557-0332	安田公民館	5	34	H14～
	宮田	久下裕紀	593-0031	宮田集会場	7	17	H14～
	南矢代	酒井義彦	595-0850	南矢代公民館	6	30	H14～
	黒石	藤本嘉彦	597-2826	黒石公民館	6	30	H14～
	千年もみの会	園田誉子	596-0366	大山宮公民館	12	60	H11～
	ホットくりから	西澤小光	593-1024	栗柄ふれあいセンター	12	20	H8～
	ねんりんボランティアゆりの会	高山亮子	558-0520	岡野多目的研修センター	12	15	H9～
	サロン神田の森	森本淑子	596-0031	神田荘	12	20	H11～
	ボランティア						

※その他にも実施されている地区がある。

(平成15年2月現在 社会福祉協議会調べ)